

松本市市民活動 サポートセンター通信

No.6

発行元 松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX 0263-88-2988
E-mail support-center@support-center.jp
URL http://www.support-center.jp



サポートセンター自主事業活動報告



第1回市民活動講座

「さまざまな市民活動のあり方 — 町会を中心として —」

9月15日(金)に長野県短期大学講師築山秀夫さんを講師に迎え、市民活動の様々な形態の中から町会に焦点を絞り、講演会を開催しました。町会に興味のある方48名の参加があり、町会の成り立ちや現状、問題点、今後の予測と町会活性化のためのコツ等について講演され、その後、活発な質疑応答がされました。(太田圭郁)



第2回市民活動講座

「市民参加による地域づくり ～ ワークショップ体験 ～」

9月28日(木)にNPO地域づくり工房代表傘木宏夫さんを講師に迎え、会議や講座等、市民参加の様々な場面で、また、合意形成の手段としても有効性を発揮しつつあるワークショップ(体験型の講座)に興味のある方27名が集まり、実際に体験しながら、ワークショップ運営のコツについて学びました。(太田圭郁)



第3回市民活動講座

「広報づくり(基礎編)」

10月20日(金)に光合成プロジェクトLLP代表伊藤昌輝さんを講師に迎え、広報の基礎に興味のある方16名を定員とし、当日参加の方を含めて17名で開催しました。時代の変化によって劣化してしまう表面的技術論をあえて扱わず、広報の根本の考え方について学びました。次回応用編は11月22日(水)です。(受付終了)
(太田圭郁)



国際交流団体交流会

10月18日夕方、当センターにて、国際交流に関する活動をしている個人ボランティア4名に12団体17名、広報国際課などの行政側の参加も加えて27名で交流会が開催されました。

はじめに、活動内容を含めた参加者全員の自己紹介がありました。各自・各団体それぞれの思いが伝わり、会場は和やかな雰囲気になりました。

引き続き、意見交換会が行われ、団体間での質疑応答があり、相互の活動への関心の高さがうかがえました。活動内容もその目的も様々な集まりでしたが、「外国籍の方、日本の方、双方に住みよい地域づくりをしたい」「皆仲良く理解し合いたい」という想いは一緒のようで、異なる活動をしている団体の話も興味深い様子でした。その中で、情報共有の提案として、「地域の外国籍の住人向けに外国語での案内ページを市のホームページ上に作ったらどうか」「必要な時に協力しあえるお互いの情報をまとめたい」「松本市だけに限定しない広がりのある



交流は良いと思う」「集まりの継続のために緩やかなつながりが欲しい」などが挙げられました。「今回出席できなかった団体にもまた声をかけて、来年2月までに次回の集まりをしたい」という意見で閉会しました。アルゼンチン、モンゴル、中国から移住した方々の課題を克服した話や、当事者としての視点からの提案は、どの分野で活動する人にも訴えかけるものがありました。早速、中央公民館教育部から勉強会開催の事業提案もあがり、この分野への期待の高さを感じさせました。

(小池史子)



新まつもと物語プロジェクト

“松本の新しい宝を発見しよう”“市民の力でまつもとの魅力を発信しよう”と 2005 年 12 月に発足、現在 40 名ほどの会員で、ウェブサイト媒体として、松本の観光に関わる情報発信、イベント運営、サポートなど、松本をリデザインする活動を続けてきた市民活動団体「新まつもと物語プロジェクト」。行政と連携して企画運営をし、松本市公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」「ようこそ松本」が主な舞台である。

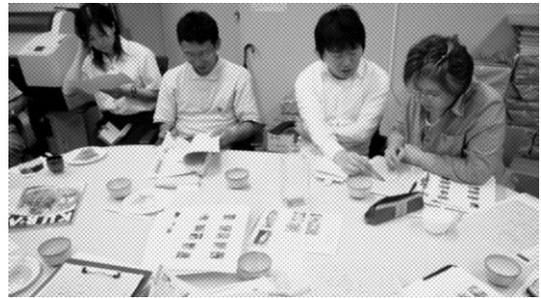
開設間もないころから予想以上のアクセスがあり、「多い時には1日2,000件もあるんですよ」と事務局長の伊藤さん。一番人気の分野は市民記者ブログ。口コミ情報は今も昔も大切な情報収集手段だ。ウェブサイトの基本形態を3年で作ることを目指し、1年を過ぎたころから広いサイトを班単位で管理するようにし、機動性を高め、データを貯め、内容を充実させていきたい構えだ。

基本3年計画の折り返しの現在、松本へ初めて来る人への情報提供を目的とした「基本情報」と、松本マニアの方や市外に転居した地元出身の方に向けた細かい情報提供を目的とした「市民記者からの情報」を2本柱として、システムの改善と情報収集をしている。現在10程

度になった班の班長会議を月1回以上行って、そこで顔を合わせて意見交換を行っている。顔の見えないウェブで活動するからこそ、大切なことだという。

全国的にも珍しい、地域住民からの生の情報を発信するこのサイト。人気サイト継続の為に情報はブログという形で蓄積した上で、その後、活用するシステムの確立を進めて、長い期間を見据えた計画づくりが不可欠だ。

伊藤さんは、「今、松本の宝の原石が集まりつつあります。これからはそれを磨いていく段階です。興味のある方は、ぜひ参加してください」とPRしている。(小池史子)



事務局に気軽に声をかけてください！

◆問合せ：新まつもと物語プロジェクト

E-mail: info@joematsumoto.net

松本市ボランティアセンターより ☆ごあんない☆

地域でのボランティアについて考える研修会

住民同士のつながり、支え合いが求められている今…地域でできるボランティアは何でしょうか？例えば、「こんなボランティアやっています」とか、「これなら私にもできそう」など。この機会に皆で考えてみませんか？

- ◆日時：12月3日(日) 9:30~12:20
- ◆内容：講演・事例発表と意見交換など
- ◆対象者：地区でのボランティア活動関係者・関心のある方
- ◆主催：松本市社会福祉協議会ボランティアセンター・松本市市民活動サポートセンター
- ◆場所：総合社会福祉センター4F 大会議室
- ◆参加費：無料

読みきかせボランティア養成講座(基本編)

本を読んでもらうのって、子どもも大人もみんな大好き！本の選び方は？読み方のポイントは？ちょっとした「こつ」を知ると読みきかせもグンと上達

- ◆日時：12月16日(土) 9:30~12:00
- ◆内容：本の選び方(子ども向け、大人向け)、絵本の見方、読みきかせのコツ、読みきかせ・紙芝居・パネルシアターの実演など
- ◆講師：牛山圭吾先生(長野県図書館協会常務理事) 牛山貞世先生(JIPC 読書アドバイザー)
- ◆場所：総合社会福祉センター4F 中会議室
- ◆参加費：無料

傾聴ボランティア養成講座(初級)

単に『話し相手』というだけでなく、心をこめて聴くためのたいせつな「こつ」や「ポイント」を学びましょう！全4回の養成講座です

- ◆日時：平成19年1月 10日(水) 17日(水) 24日(水) 31日(水) 13:00~15:00
- ◆場所：松本市市民活動サポートセンター
- ◆定員：30名(定員になり次第締め切ります)
- ◆講師：新井賀子さん(傾聴療法士)
- ◆参加費：無料



<研修会・各講座のお問合せ>
松本市ボランティアセンター
TEL:25-7311



日本チェルノブイリ連帯基金

「チェルノブイリ原発事故後、小児白血病が増えている。日本の進んだ医療で何とかしてほしい」とキエフからSOSが入り、4名が現地へ向かった。「日本にこの子を連れて行って命を救って欲しい」と涙する母親。「日本チェルノブイリ連帯基金」の活動はここから始まり、信州大学医学部との連携など、さまざまな形へ広がっている。

8,000キロ離れて住む隣人への支援という意識が基本にある。1986年の事故から20年、当時、隣国ベラルーシ共和国に降った死の灰は、地域住民に深刻な放射能汚染をもたらした。広島などと異なり長期にわたる低線量被曝は、継続的な支援が不可欠である。1991年の団体発足から15年“経済的理由で治療が受けられずに失われていく子供たちの命を何とか救いたい”という思いが現在までの85回の訪問に繋がり、白血病の治療を中心とした支援が、同時に現地の遅れた医療環境を改善していった。

この地道な活動が評価され、読売国際協力賞を授与された。15年前に甲状腺がん治療を受けた子供たちは大人になり、結婚をしたり、医者を目指したり、次の時代へ確実に繋がっている。事故を扱ったドキュメンタリー映画は大きな反響を呼んだ。事務局の神谷さんは、この節目の記念行事を計画していた時、そろそろ団体の解散時期だと考えていたという。

ところが、その成果は活動の継続を求めている。



15年前初めて医療支援を開始した思い出の地で、25人の訪問団は15年前そのままに使われている超音波機器を見た。月に500人ももの患者の治療に使われ、日本ではありえないほど働く機械はぼろぼろで、すぐに新たな機器の支援計画が持ち上がった。記念行事では、中学生が企画・運営に積極的に関わった。“大人になったからこそわかってきたことを生かしたい”と松商学園高校放送部OBが10年ぶりに現地を訪れて再会を果たしてきた。神谷さんは、「記念行事をやっているうちに、元気になっちゃって」と微笑みながら「エネルギー源の3割を原発で賄う日本にこのことを知って欲しい」と言う。今後は、小さな地区病院への支援と小児甲状腺がんのフォローアップを柱に活動していく方針だ。(小池史子)

◆問合せ：日本チェルノブイリ連帯基金

TEL:46-4218

URL:<http://www.jca.apc.org/jcf/home.html>

Q) NPOの法人格はとったほうがいいの？

基礎から学んで賢く活用 豆知識 ③

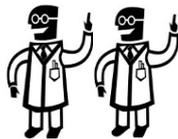
- A) 必ずしもすべての団体に法人格が必要なわけではありません。ただし、団体が法人となれば、法的・社会的な位置付けが明確になり、代表者個人でなく団体として契約ができ、対外的な信用も高まります。その反面、法律に従って、届け出や報告、更には法人としての納税の義務が生じます。規模の小さな団体は、事務量の増加も考慮に入れ、目的達成手段としてのメリットやデメリットを整理して検討したほうが良いでしょう。

<参考文献>～知っておきたいNPOのこと～

特定非営利活動法人「日本NPOセンター」編集

<<NPO法人のメリット・デメリット>>

メリット	デメリット
<p>【直接的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有の主体となれる。(不動産や重要な財産の登記・登録) ・契約の主体となれる。(賃貸借や預金) ・取引や委託契約の主体となれる。 ・寄付金や助成金の受入主体となることできる。 <p>【間接的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的信用が高まる ・寄付や公的援助が受けやすくなる。 ・営利目的でないことが理解してもらえる。 ・株式会社等の普通法人に比べ、税制上の優遇措置等が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が法や定款の制約を受ける。 ・厳正な事務処理が必要。(会計は正規の簿記。事業報告書や収支決算書の提出) ・情報公開の義務が発生する。 ・法人としての納税義務が発生する。 ・解散したときに残余財産がもどらない。 ・設立に時間と手間がかかる。



<参考文献>～自治体NPO政策～「ぎょうせい」編集

イベント・募集 (※お問合せ・お申込みは、各主催団体へ直接お尋ねください。)

「なんでもありの勉強会」入門・介護保険制度

介護保険制度の利用方法と必要な費用について
入門 —初めての人のために—

健康保険や介護保険は、私達の健康と生活を守る大切な制度です。今年4月から多くの変更があり、それに伴って経済的な負担もふえます。

- ・介護保険の利用の仕方
 - ・必要な費用
 - ・介護保険で利用できるサービス
- ◆日時：11月22日(水) 13:30~
◆会場：松本市市民活動サポートセンター会議室
◆参加費：会員¥700、一般¥1,000
◆定員：30名(申込み順、定員になり次第締切り)
◆問合せ：特定非営利活動法人ライフデザインセンター松本相談窓口
TEL/FAX:46-2020



ウイメンズ・サポート「子育て支援講座」 シリーズ3ー親子で遊ぼう!!ー

毎日がんばっている、おかあさん、おとうさん、お子さんと一緒に音楽に合わせて体操しながら、ちょっと肩の荷をおろしましょう。

- ・音楽に合わせて親子で体操(体操のできる服装で)
 - ・親も子もストレス発散
- ◆日時：11月28日(火) 10:00~11:30
◆会場：松本市市民活動サポートセンター
◆講師：百瀬さつきさん
◆参加費：無料
◆対象：どなたでも
◆定員：親子15組(必ずお申込ください・申込順)
◆問合せ：ウイメンズ・サポート(六井)
TEL:090-2259-4804



講演「おき離れた心」

—子どもとところをつなぐため—

- ◆日時：11月25日(土) 13:30~(受付13:00)
◆場所：松本市市民活動サポートセンター
◆講師：天正寺(曹洞宗)住職 市川秀乗(保護司。小・中・高校で講演もしている)
◆対象：どなたでも
◆参加費：¥500(18歳以下無料)
◆託児：希望の方は事前に申込み
◆問合せ：子供の心身共に健康な成長を願う親の会
TEL/FAX:33-7257(野見山)



第2回学生ボランティア研究集会

- ・講演会「学生ボランティアのネットワークングについて」
 - ・分科会「海外のボランティアから学ぼう!」など
 - ・交流会「ネットワークまずは友達から」
- ◆日時：12月10日(日) 10:00~16:00
◆場所：長野大学(リプロホールほか)
◆対象：学生(高校生以上)でボランティア活動をしている、もしくは関心がある方、関係機関職員
◆参加費：学生¥1,000、一般¥2,000(昼食含む)
◆主催：地域人材連携事業実行委員会
◆問合せ：長野県ボランティア地域活動センター
TEL/FAX:026-226-1882/026-291-5180(山崎)

サポートセンターからのお知らせ・募集



「国際交流」に取り組む団体の活動紹介コーナー!

10月15日(日)~11月12日(日)を国際交流キャンペーン期間とし、センターの一角に特設展示コーナーをつくり、活動の様子やメッセージなどをパネル展示しました。市民の皆さんにも活動を広く知っていただける良い機会になりました。

次回は…高齢者福祉団体の交流会：12月13日(水)(予定)
展示期間：12月10日(日)~1月14日(日)(予定)
どうぞ一度お立ち寄りください。

市民活動サポートセンターホームページをうまく利用してみてください!

松本市市民活動サポートセンターHP <http://www.support-center.jp> 便利な情報満載です!

センター施設予約情報、イベント・助成金情報、ボランティア団体・登録団体リストなど、随時更新中です。松本市公式HP<くるくるねっと>からもリンクしています。

市民活動団体発信の「情報掲示板」もご利用ください!

市民活動団体の情報発信の場として活用してみませんか? 「団体紹介」・「イベント紹介」・「会員募集」 「活動PR」など、[情報交換・掲示板] → [情報掲示板] に掲示しています。お待ちしております!



編集後記

おかげさまで、市民活動サポートセンターも9月22日で開設1周年を迎えました。末永く皆様に愛される身近で便利なセンターにしていきたいと思いますので、これからもよろしくお願いたします。

